

減災力の強いまちづくり

シリーズ④

自分の身を守るための「避難情報」

災害時には、テレビ、防災行政無線、防災ラジオなどから情報を得るように心がけましょう。

その情報を基に適切な行動をとることが自分の身を守ることに繋がります。

市役所から出される3つの避難に関する指示

避難指示

人的被害の発生する危険性が非常に高いと判断された場合などに発令されます。

避難勧告

人的被害の発生する可能性が明らかに高まった状況に、安全な場所への避難を促すために発令されます。

避難準備

避難行動に時間を要する住民等が避難行動を開始しなければならない段階に発令されます。

現在、NTT 東日本から配布されているタウンページには、防災タウンページも別冊として同封されています。この防災タウンページには、市の避難所マップも掲載されていますので、ご活用ください。

ひとりひとりが減災力を身につけましょう

災害は、いつでもどこでも起こりうるものです。減災のためには、まずひとりひとりが自分の命を守り（自助）、その上でお互いを助け合う（共助）ことが重要となりますので、実践をとおして学びましょう。

北杜市地域減災リーダー育成研修日程

第2期 申込期限 10月12日(金)まで 申込書は、広報ほくと6月号をご利用ください。

| 実施日 | 時間 | 教科 | 指導者 | 場所 |
|-----------|--|-------------------------|------------------------|---------------------------|
| 10月20日(土) | 受付 9:30 ~ 講義 10:00 ~ 12:00 | 減災研修基礎 家庭の減災 | NPO法人 減災ネット やまなし | 高根町 農村 環境改善 センター |
| 10月21日(日) | 講義 12:45 ~ 14:00 講義 14:10 ~ 16:10 試験 16:20 ~ 17:00 | 地域の減災 避難所の開設 認定試験 | | |

○認定試験に合格し、かつ消防署が主催する「普通救命基礎」を受講(※)された方については、市の公式認定証を発行し、地域減災リーダーの名簿に登録されます。

問い合わせ 地域課 TEL 42-1323 FAX 42-1122

※市の公式認定には、上記の4教科(無料)の他に「普通救命基礎」の受講が必要となりますので、北杜消防署へお申し込みください。なお、「普通救命基礎」の終了証をお持ちの方は、研修時にご提示ください。受講カードに押印します。

平成30年度後期 普通救命基礎講習

| 申し込み | 実施日 | 場所 | 時間 |
|------------------|-----------|--------|--------|
| 北杜消防署 32-2508 | 9月22日(土) | 長坂総合支所 | 9時~12時 |
| | 10月14日(日) | 大泉総合会館 | |
| | 11月10日(土) | 長坂総合支所 | |
| | 12月8日(土) | 長坂総合支所 | |

北杜市消防団大泉分団 山梨県大会初優勝！

8月5日(日)に、県消防学校で行われた、第50回山梨県消防団員操法大会に、峡北支部の代表として大泉分団が出場し、北杜市消防団として初優勝しました。

小型ポンプ操法は、火に見立てた標的に放水するまでのタイムと併せ一連の規律や機械操作の安全性、正確性を競う大会です。選手の皆さんは、3月から厳しい訓練を重ね、素晴らしい成果を出しました。山梨県 NO. 1 として、10月19日(金)に富山県で開催される全国大会へ向け、日々訓練を行っています。全国大会でも、北杜市消防団の力が発揮できるよう期待しています。

第50回山梨県消防団員操法大会成績

| | |
|-----|-------------|
| 優 勝 | 北杜市消防団 |
| | タイム 40.87 秒 |
| | 総得点 88.5 点 |
| 準優勝 | 山梨市消防団 |
| | タイム 43.69 秒 |
| | 総得点 88.0 点 |
| 準優勝 | 笛吹市消防団 |
| | タイム 42.83 秒 |
| | 総得点 87.5 点 |



出前塾 減災の知識を学ぶ

7月14日(土)、武川町牧原地区の幅広い年代の25人が集まり、NPO 法人減災ネットやまなしから講師を迎え、減災について学びました。減災の知識を〇×ゲーム方式で楽しく学んだほか、既に減災に取り組んでいる自治体が紹介されました。

今回の出前塾は、市内で初めての実施であり、東日本大震災での教訓を基に地域でできること、しなければならぬことを再確認しました。



また、今回は自主防災を考える会から講座への参加があり、代表の蔦木さんは、「共通認識を持っている減災リーダーがやっと10人揃い、活動がスタートしました。私自身は、昭和34年災害を体験しているが、災害時には、どうしてもパニックになってしまう。災害時にパニックにならないよう常に減災に対する意識を持つことが大切。」と話していました。